



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月12日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドゥ

コード番号 3032 URL <http://www.golfdo.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊東 龍也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長

(氏名) 大井 康生

TEL 048-851-3111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,415	3.9	79	96.5	76	112.0	77	89.6
27年3月期第3四半期	3,288	△1.8	40	247.1	36	303.6	41	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 72百万円 (17.8%) 27年3月期第3四半期 61百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第3四半期	62.87	61.39
27年3月期第3四半期	33.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第3四半期	2,466	563	22.5	446.86
27年3月期	2,335	486	20.4	392.45

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 554百万円 27年3月期 477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	4,500	5.4	70	215.0	60	231.3	30	16.3	24.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	1,311,300 株	27年3月期	1,311,300 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	70,979 株	27年3月期	70,979 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	1,240,321 株	27年3月期3Q	1,240,390 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、円安を背景に企業収益の改善や雇用環境の改善が見られるなど緩やかな回復基調が続いているものの、アジア地域の成長鈍化による輸出の減速や生産・在庫調整など、景気の下振れリスクが懸念され、個人消費については依然として不透明な状況が続いております。

ゴルフ業界におきましては、秋に発売されました人気ブランドの新製品群が好調にスタートしたこともあり、ゴルフクラブ市場の前年同期比ではプラスで推移していますが、年間を通してはマークダウン品販売の減少などにより数量ベースでは需要減、金額ベースでは微増基調という市況であります(矢野経済研究所YSPデータより)。また、ゴルフ場/練習場の利用者数は、前年同月比10月104.6%/103.7%、11月97.3%/96.2%(経済産業省「特定サービス産業動態調査」)、年間を通しては微増/微減で推移しております。

このような経済状況のもと、直営事業におきましては引き続きお客様に感動を与える接客を目指してさまざまな施策を展開しております。なかでも、15周年記念の新規顧客獲得キャンペーン企画では1万人を超える多くのお客様からご応募をいただきました。その結果、購入客数の増加、購入単価の上昇と順調に推移しております。フランチャイズ事業におきましては10月に1店舗新規出店したことにより、直営事業における店舗数とあわせ平成27年12月末日現在の営業店舗数は全国で合計77店舗となっております。さらに、営業販売事業におきましては、直輸入商材から国内商材へシフトし卸体制も見直した結果、収益の改善を図ることができました。

また、子会社のスクエアツウ・ジャパン株式会社におきましては、平成27年6月に営業譲受した「ゴルフ・ドゥ! 山口防府店」は計画通り順調に推移しております。

なお、当社は株式会社CURUCURU社と共同で、新会社「株式会社CURUCURU Reuse」を4月に設立し、女性ゴルファーに特化したECサイトを平成27年10月にスタートさせており、中古のレディスウェアを中心とした新たな顧客層の獲得を目指しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高34億15百万円(前年同四半期比3.9%増)、営業利益79百万円(前年同四半期比96.5%増)、経常利益76百万円(前年同四半期比112.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は77百万円(前年同四半期比89.6%増)となりました。

ゴルフ・ドゥ! 店舗月次データ(売上高前年比)は以下のとおりであります。

ゴルフ・ドゥ! 店舗	上半期 累計	H27年 10月	H27年 11月	H27年 12月	第3四半期合計 (10~12月)	第3四半期累計 (4~12月)
チェーン全店	101.8%	99.3%	97.1%	106.6%	100.9%	101.5%
チェーン既存店	102.2%	98.2%	95.9%	105.5%	99.7%	101.3%
直営全店	110.0%	96.2%	98.1%	108.9%	100.7%	106.8%
直営既存店	106.2%	91.9%	93.4%	104.4%	96.2%	102.7%
F C全店	97.5%	101.2%	96.5%	105.3%	101.0%	98.6%
F C既存店	100.0%	102.0%	97.3%	106.1%	101.8%	100.6%

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

(直営事業)

当第3四半期連結累計期間における直営事業の売上高は24億70百万円(前年同四半期売上高は22億57百万円)となりました。また、セグメント利益は1億39百万円(前年同四半期セグメント利益は1億31百万円)となりました。

(フランチャイズ事業)

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は2億73百万円(前年同四半期売上高は3億4百万円)となりました。また、セグメント利益は1億20百万円(前年同四半期セグメント利益は1億20百万円)となりました。

(営業販売事業)

当第3四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は6億71百万円(前年同四半期売上高は7億26百万円)となりました。また、セグメント利益は4百万円(前年同四半期セグメント損失は13百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は24億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億31百万円増加となりました。

流動資産は、18億22百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億32百万円増加となりました。これは主に現預金が1億68百万円増加、商品及び製品が14百万円減少したことによるものです。固定資産は、6億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少となりました。これは主に有形固定資産が14百万円増加、無形固定資産が10百万円増加及び投資その他の資産が25百万円減少したことによるものです。

(負債)

流動負債は、11億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ41百万円増加となりました。これは主に買掛金が39百万円増加したことによるものです。固定負債は、7億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円増加となりました。これは主に長期借入金が15百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ77百万円増加となりました。これは主に利益剰余金が77百万円ほど改善したことによるものです。この結果、自己資本比率は22.5%（前連結会計年度末は20.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月11日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	377,494	545,745
売掛金	210,047	180,649
商品	1,014,167	999,609
繰延税金資産	28,434	30,226
その他	61,695	68,138
貸倒引当金	△1,515	△1,515
流動資産合計	1,690,323	1,822,853
固定資産		
有形固定資産	197,809	212,260
無形固定資産	41,718	52,098
投資その他の資産		
長期貸付金	70,100	53,000
投資有価証券	21,149	19,762
敷金及び保証金	157,160	160,476
建設協力金	120,243	112,247
その他	38,747	36,075
貸倒引当金	△2,167	△2,167
投資その他の資産合計	405,232	379,393
固定資産合計	644,761	643,752
資産合計	2,335,084	2,466,606
負債の部		
流動負債		
買掛金	250,070	289,450
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	277,668	283,864
未払法人税等	12,321	10,457
賞与引当金	19,877	7,279
ポイント引当金	30,078	32,871
その他	145,024	152,507
流動負債合計	1,135,040	1,176,430
固定負債		
長期借入金	494,830	510,642
退職給付に係る負債	132,163	92,669
繰延税金負債	7,021	6,874
資産除去債務	36,465	41,247
その他	42,800	74,924
固定負債合計	713,279	726,357
負債合計	1,848,319	1,902,788

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	501,320	501,320
資本剰余金	178,372	178,372
利益剰余金	△230,318	△152,337
自己株式	△23,649	△23,649
株主資本合計	425,725	503,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,144	2,757
為替換算調整勘定	47,326	47,783
その他の包括利益累計額合計	51,470	50,541
新株予約権	9,570	9,570
非支配株主持分	—	—
純資産合計	486,765	563,817
負債純資産合計	2,335,084	2,466,606

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,288,524	3,415,590
売上原価	2,078,924	2,152,953
売上総利益	1,209,599	1,262,637
販売費及び一般管理費	1,168,991	1,182,852
営業利益	40,608	79,784
営業外収益		
受取利息	3,847	3,492
受取手数料	2,476	2,544
為替差益	—	447
その他	799	177
営業外収益合計	7,124	6,661
営業外費用		
支払利息	10,497	8,253
その他	952	1,276
営業外費用合計	11,449	9,529
経常利益	36,283	76,916
特別利益		
子会社株式売却益	23,812	—
退職給付制度終了益	—	9,874
特別利益合計	23,812	9,874
税金等調整前四半期純利益	60,096	86,791
法人税、住民税及び事業税	13,328	15,159
法人税等調整額	5,639	△1,939
法人税等合計	18,968	13,220
四半期純利益	41,127	73,571
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△4,410
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,127	77,981

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	41,127	73,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	254	△1,386
為替換算調整勘定	20,269	457
その他の包括利益合計	20,524	△928
四半期包括利益	61,652	72,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,652	77,052
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4,410

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(退職給付制度間の移行等に関する会計処理等)

当社は、平成27年10月1日付で退職一時金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 平成14年3月29日 改正 平成19年2月7日)を適用しております。

なお、本移行に伴う当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

また、海外連結子会社は、平成27年10月31日付で退職一時金制度を廃止し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」(企業会計基準適用指針第1号 平成14年1月31日)及び「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 平成14年3月29日 改正 平成19年2月7日)を適用しております。

これに伴い、当第3四半期連結累計期間の特別利益(退職給付制度終了益)として9,874千円を計上しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,257,838	304,399	726,196	3,288,434	89	—	3,288,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	939	△939	—
計	2,257,838	304,399	726,196	3,288,434	1,028	△939	3,288,524
セグメント利益又は損失(△)	131,567	120,464	△13,346	238,685	△14,422	△183,654	40,608

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マーケティング支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,470,494	273,530	671,531	3,415,556	33	—	3,415,590
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	17,759	△17,759	—
計	2,470,494	273,530	671,531	3,415,556	17,793	△17,759	3,415,590
セグメント利益又は損失(△)	139,145	120,981	4,848	264,976	△3,805	△181,386	79,784

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マーケティング支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。